

臨床研究「オートアライメント機能付き OCT による眼底形状と近視との関係の検討」について

筑波大学附属病院眼科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の変更前(2019年12月より以前)に参加いただいた方向けのお知らせがあります。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

近視の眼には形状的な特徴があることが知られています。この研究では、様々な年齢と近視の度合の眼のデータを集め、近視の眼の特徴を明らかにしようとしています。このために、OCT という装置を使って眼底の形状測定を行います。

② 研究対象者

2019年3月31日から2021年8月31日までに当院で本研究に登録される患者さん被験者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年10月31日まで

④ 研究の方法

6種類の眼科用検査装置で検査を行い、下記1で測定された眼底形状と比較します。これらの装置はすでに病院で使われている装置で、安全性が確認されています。

1. 3次元眼底像撮影装置 3D-OCT-1

眼底の断層像を撮影します。この断層像から眼底の形状を知ることができます。

2. 3次元眼底像撮影装置 DRI OCT Triton

1と同じく眼底の断層像を撮影する OCT 装置ですが、眼底の奥の脈絡膜という組織の形状までわかります。

3. ウェーブフロントアナライザー KR-1W

角膜の形状や、角膜形状と水晶体形状等の影響で発生する収差を評価する検査装置です。

4. 眼軸長測定装置 IOL マスター700

OCT と同じ原理で角膜から網膜までの距離、角膜や水晶体の厚さを測定できます。

5. 前眼部 OCT CASIA2

角膜や水晶体の形状を測定する OCT です。

6. 前方開放オートレフラクトメータ WR-5100K

屈折を測る検査で、上下左右に30度視線を変えて測定します。

⑤ 試料・情報の項目

上記の検査で得られた情報、臨床検査で得られた情報、年齢・性別を研究で利用します。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

上記の検査で得られた情報は、復元可能な匿名化をされたうえ、パスワードで保護された USB メモリーやハードディスクで共同研究を行っているトプコンや Essilor へ提供されることがあ

ります。この情報は海外（Essilor 社）に提供されることもあります。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 医学医療系 准教授 三橋俊文

⑧ 研究機関名および研究責任者名

1. 筑波大学 医学医療系 准教授 三橋俊文
2. 株式会社トプコン R&D 開発部
3. Essilor Essilor Lens R&D. Didier Grand Clement

⑨ 本研究への参加をとりやめたい場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 本研究の変更点

1. 本検査に参加いただいた方は、負担軽減費としてクオカード 5000 円を受け取ることができます。以前、検査に参加いただいた方もクオカード 5000 円を受けとることができます。
2. Essilor 社が共同研究に加わり、プロトコルの提案を担当します(⑧-3)
3. 検査データが海外(Essilor 社)に提供されることがあります。
4. 研究機関が 2021 年 10 月 31 日までに延長されました。
5. 検査④-6 が追加になって計 6 種類となっております。

⑪ 問い合わせ連絡先

筑波大学医学医療系眼科 准教授 三橋俊文

Tel/fax 029-853-3148 (筑波大学医学医療系眼科 学系棟 106 号室 平日 9:00 - 17:00)

Tel 029-853-3110 (救急外来 休日, 夜間)